

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|------|---------------------------------|-------|---------|--------------|--|
| 団体名 | 徳島市（徳島東部地域定住自立圏 行政運営に関する研究会事務局） | | 代表者名 | 井坂 剛人 | |
| 担当部署 | 総務部 | | 連絡先電話番号 | 088-621-5113 | |
| 担当役職 | 主事 | 担当者氏名 | 四宮 大資 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 770-8571 徳島県徳島市幸町2丁目5番地 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー | 太田垣 恭子 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に） | オンライン形式での講義であったが、アドバイザーとは別にもう1人講師を呼んでいただき、2人の講師が対談形式で講義を進めることにより、非常に分かりやすい講義となった。また、PCまたはスマートフォンから匿名で意見を投稿したり、「いいね」を付けることができるwebサービスを講義中に使用することで、忌憚のない意見が参加者から積極的に投稿され、今後に活かせる研修となった。また、参加者の質問に対して、要点を押さえ、また、行政職員の立場や考え方をよく把握したうえで、分かりやすく非常に参考になるアドバイスをいただいた。このことから、評価を「大変よい」とした。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 今回は2時間程度の研修内容であったが、また機会があれば、受講生を参集し、規模、ボリュームを増やし、さらに踏み込んで講義していただきたい。 |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|-------------|----------------|--------------|--------------|---------|----------|
| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日（応募依頼より） | 支援内容（応募依頼より） | 期日・支援内容の変更あり | | |
| | 令和5年8月23日 | 講演 | 無 | | |
| | | | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | | | 14時00分 | 16時00分 | 0 |
| | | | | 活動時間（分） | 120 |

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

| | | |
|------|---|---|
| 掲載許可 | <input checked="" type="checkbox"/> 掲載可 | https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/ |
|------|---|---|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|--|-----|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 人数 |
| | 市町村職員 | 19人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） | 本研究参加自治体ではオープンデータの利活用及び普及があまり進んでおらず、その原因として、オープンデータの効果やメリットが不明確で実感しにくいこと、どのようなデータが求められているか把握できていないこと、行政情報の公開に対する職員の意識やオープンデータ化の手順に関する知識が不足していることなどが挙げられる。 | |
| 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） | この度の支援において、アドバイザーの経験や知見によるアドバイスにより、オープンデータの利活用の推進に組織として積極的に取り組んでいく職員の意識の醸成を図る。さらに、研修を通じて得た知識を基に、各自治体でより効果的かつ効率的な事業の計画・実施に取り組んでいく。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい） | ・各所属にデータの登録を呼びかけているが上手くいかない。どのようにすれば協力を得られやすいか。 ・行政の所管するデータのうち、市民ニーズが高く利活用されやすいデータは何か。 ・何をどこまで公開したらよいか分からない。 ・企業の利益になるようなデータも公開してよいのか。 ・誤った情報を出してしまったらどうすればよいか。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい） | この度の支援により、オープンデータの定義や基本的なルールから始まり、利活用を促す仕組みづくり等、詳細かつ丁寧な講義を受けたことにより、これまで、漠然としていたオープンデータの基本や公開することで得られるメリットをあらためて知ることができ、オープンデータの利活用の推進に積極的に取り組んでいく意識の醸成が図られ、各自治体でより効果的かつ効率的な事業の計画・実施に取り組んで行く際の貴重な知識を得ることができた。 | |

| | | |
|--|---|-------------------------|
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください) | 行政情報をオープンデータとして公開することで、市民や企業だけでなく、業務改善に繋がることで自分達職員にもメリットがあるということであったが、具体的にどのような業務改善が期待できるのかについてもっと知りたいという声があった。また、今後事業を実際に進めていく過程においては、より実務に沿った知識の習得が必要であると思うので、その際には、再度ご支援いただければと思う。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ・受講者はオープンデータの担当者か。 (結果)ほとんどの受講者が担当者ではない。 ・現在公開しているデータセット数 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ③現段階では課題・問題が残っているため未定 |
| 事業の最終的な目指す姿 | 今後、より一層、オープンデータの利活用の推進に取り組み、住民の利便性の向上や公平で効率的な行政運営を実現する。 | |

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



